

3代目担当者の日々

2017年度第4回機関リポジトリ新任担当者研修
東洋大学図書館事務部図書事務課
後藤明日香

JPCOAR オープンアクセスリポジトリ推進協会
研修作業部会



本日の概要

- 東洋大学のご紹介
- 東洋大学学術情報リポジトリのご紹介
- 3代目担当者の日々やっていること
- 今後の展望

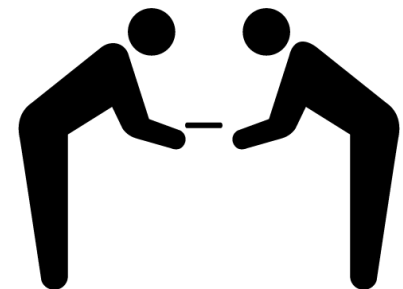
東洋大学のご紹介

概要		
学部	13学部	夜間学部あり
大学院	13研究科	
学生数	約30,000人	
専任教員数	約700名	
キャンパス	5キャンパス	白山・朝霞・川越 板倉・赤羽台

東京・埼玉・群馬

学祖・建学の理念・沿革		
学祖	井上円了	キーワードは「哲学」「妖怪」
建学の理念	「諸学の基礎は哲学にあり」「独立自活」 「知徳兼全」	
ざっくり沿革	1887年	哲学館を創立する
	1906年	私立東洋大学と改称する
	2012年	開学125周年
	2017年	開学130周年

よろしくお願ひします。



東洋大学学術情報リポジリのご紹介

The screenshot shows the homepage of the Toyo University Repository. At the top, it features the university's logo and name in both Japanese (東洋大学) and English (Toyo University Repository for Academic Resources). Below this, there is a navigation menu with links for Home, Notice, About, and a list of all rights reserved items. A central search bar is prominently displayed with a search button and options for detailed search, full-text search, and keyword search. To the left, there are filters for language (currently set to Japanese) and a list of document types including abstracts, research reports, theses, and general journal articles. The main content area displays a list of items, with the top one being a PDF document titled 'Towards the enhancement of resilience in a Disaster Management context...' with 1502 views. Other items include a document on disaster medicine and another on the feasibility of keieironshu. On the right side, there are sections for '登録について' (About Registration) and '関連リンク' (Related Links), which include links to the university's research information database, library, and other academic resources.

概要

正式公開

2012年10月4日

コンテンツ数

約6,000件
(紀要・博士論文が主)

紀要冊数

約45タイトルを
継続して公開

担当者

職員2名、派遣社員1名、
アルバイト1名
(雑誌業務と兼務)

本日の事例報告

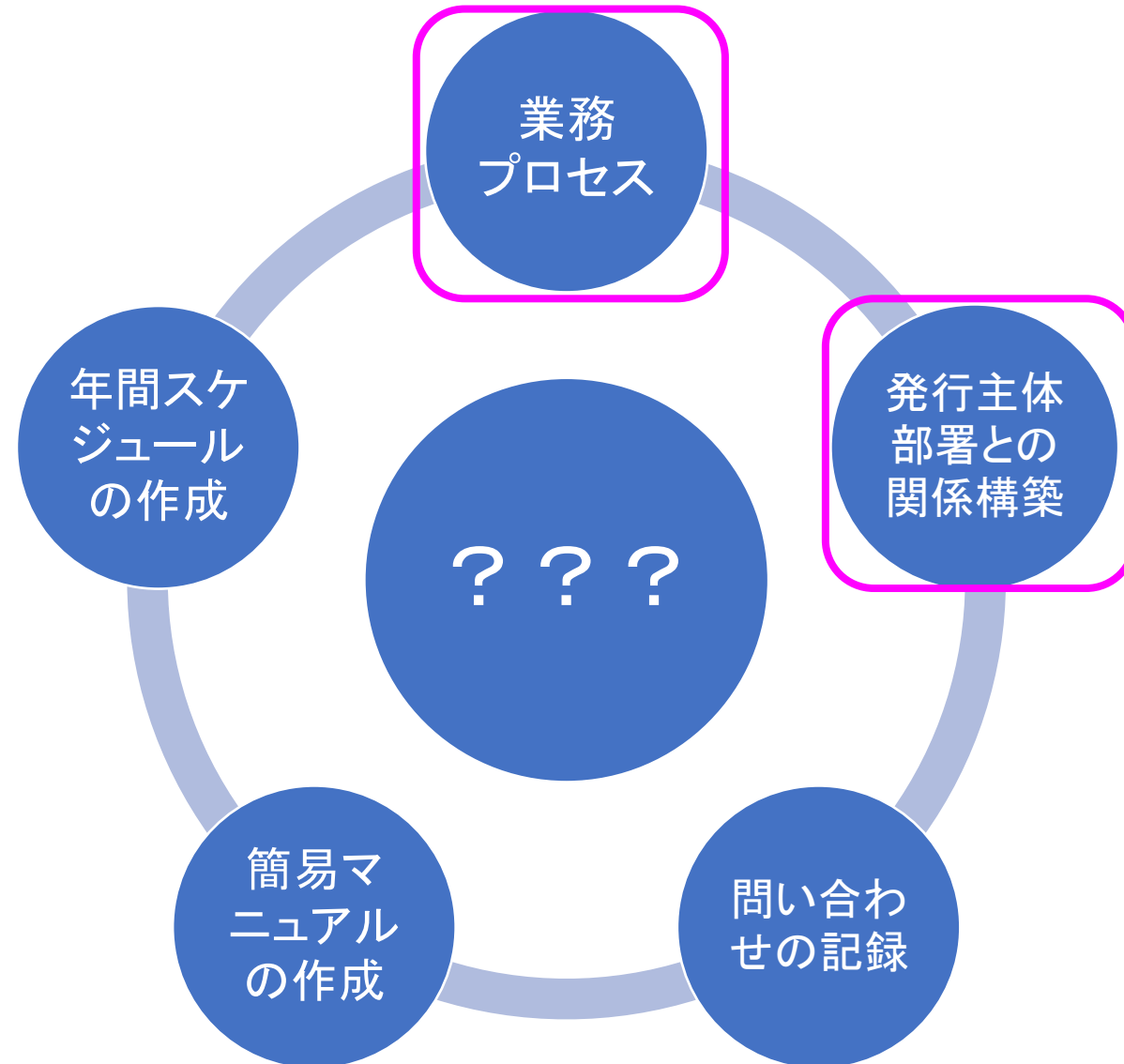
実務としてのリポジトリをご紹介します。

業務遂行の一助になる部分があれば幸いです。



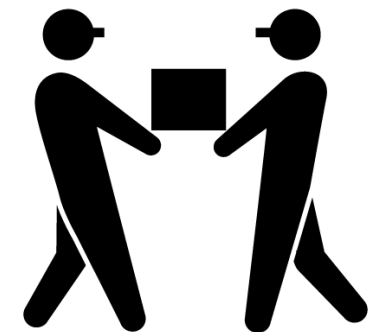
(理由) 自分が手探りからスタートして、
とても困っていたから。

3代目が日々やっていること



業務プロセスご紹介の前に

- 紀要類の発行・編集業務は、図書館では行っていません。
- 2人で1冊(1本)を掲載します。
- 一括登録ツールは、練習中です。
- メタデータ自動取得機能は使っていません。



業務プロセス(1)

作業者
AorB

冊子(論文の中身)を確認しながら、
PDFデータを論文ごとに分割する



作業者
AorB

所定のバックアップフォルダに保存



作業者
A

掲載作業を行う
サイボウズ Liveで報告する

業務プロセス(2)

作業者
B

冊子と照合し、確認、公開する
サイボウズ Liveで報告する

Wチェックを行う

作業者
B

図書館システムに入力する

主に、掲載日と公開日を記録
その他、データ督促状況や
担当部署も記録

職員

発行主体部署や教員に、
リポジトリに掲載した旨を報告する

発行主体部署への報告

業務プロセスのよかったこと

Wチェック

入力ミスの予防

図書館システムへの
記録

更新漏れの激減

発行主体部署への
報告

改善点の指摘・お褒めの言葉

担当者不在でも業務が進むようになりました

発行主体部署との関係構築-博士論文

あちらも急に担当者が
代わったみたい…

乙論文は、いつでも
発生するのかな…不定期？

執筆者は、リポに載るっ
て知ってるのかな？



名簿ももらえると
助かるなー

お互いに不安

お互いの不安等も確認しつつ、
認識を共有し、
「申し合わせ」として文書に残した

博士論文です！

ありがとう♪

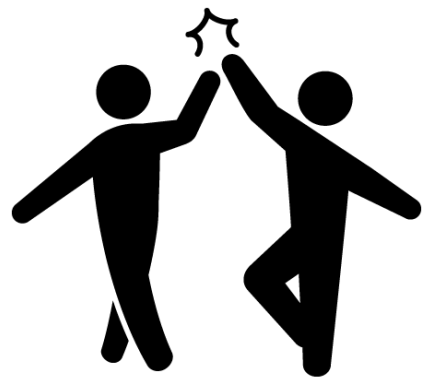


スムーズな受け渡し

発行主体部署との関係構築-よかったこと

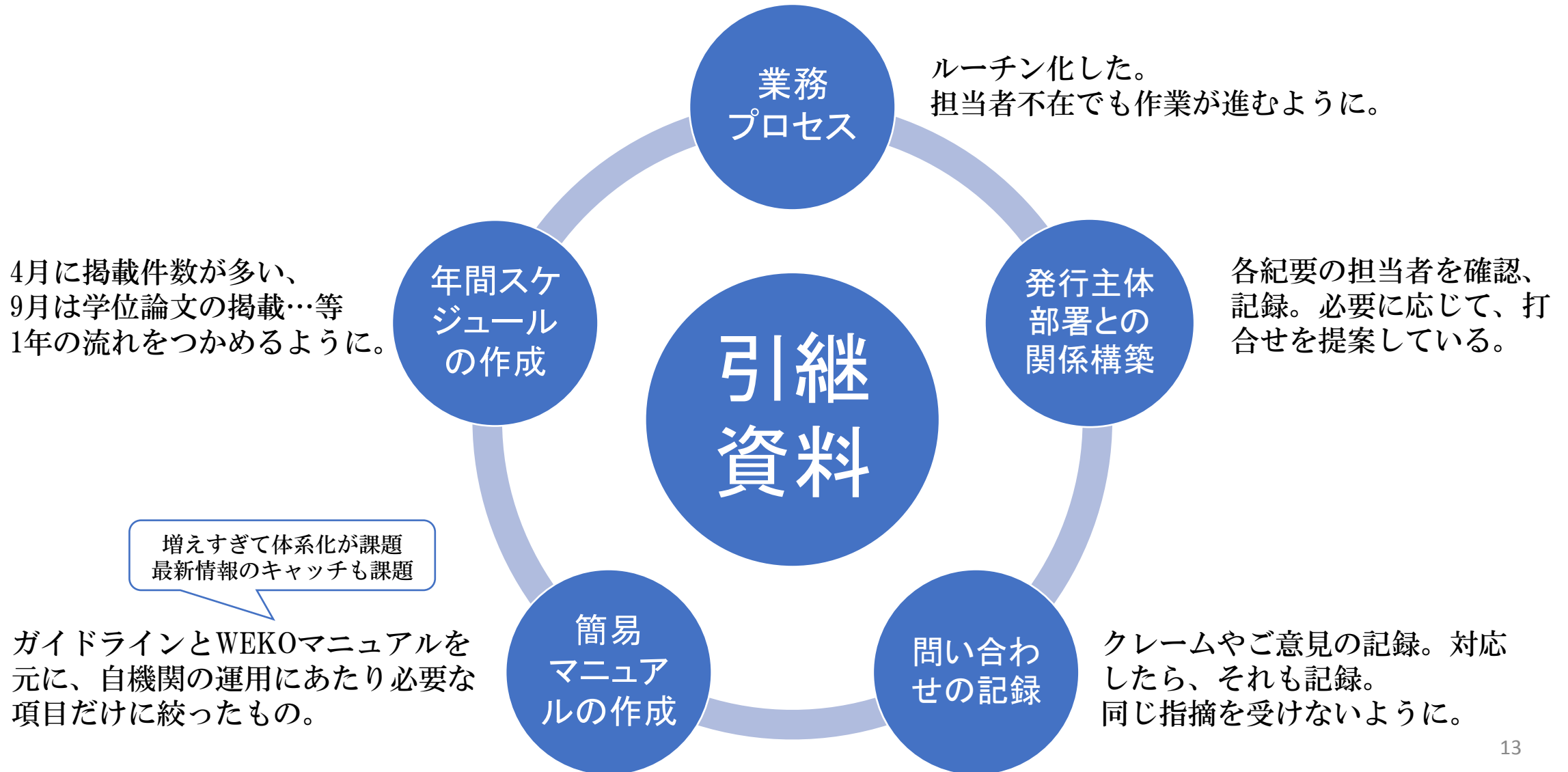
コミュニケーションがしやすくなった

お互いのことを知っているという安心感



他部署との連携の1つの形かも？

そして、引継資料へ…



決して外部からは見えないことですが

いつでも次の担当者に引き渡せるように。
発展の礎になれるように。

異動はつきもの…

いつの間にか、リポジトリが好きになっていました



今後の展望(個人的)

学内の成果物のコレクションを目指したい

(1) 自キャンパス以外の紀要類の発掘

(2) 附置研究所の紀要以外のコンテンツの掲載

しかし、リポジトリを知らない教職員も多い

そうだ、営業しよう

営業活動(計画中含めて)

別件ついでに
営業メール

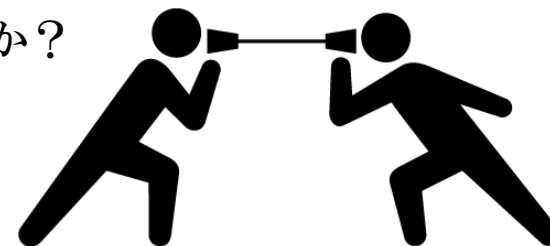
図書館内に
ポスターを掲示

ロゴの活用

小さなことでも、コツコツと。

先日の件は、〇〇です。
ところで、リポジトリに論文載せませんか？

考えとくー



ご清聴ありがとうございました



東洋大学

哲学とともに130年
130 years with philosophical mind